

とんがらし通信

笑顔と涙の二十歳の門出!



 No. 237 

～主な内容～

- ・施設長コラム ・成人を祝う会
- ・SMGコンサート ・すてーじ
- ・活動報告 ・研修 ・職員コラム
- ・Close-up! ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2019年1月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



憂いは続くよ どこまでも の巻

新年早々こんな話題で恐縮ですが…。いったい何を信じればよいのでしょうか。前々号で『障害者雇用水増し問題』について書きましたが、それからわずか数か月、厚労省による『毎月勤労統計』の不適切な調査が大きな問題となっています。この統計調査の結果は労働者の保険給付ばかりでなく、国の政策判断や経済分析、GDP算定の基となる重要な資料ですので、このたびの不正は国内のみならず全世界に大きな影響を及ぼしかねない重大なものと言えます。毎度のことですが、杜撰な政府の対応に憤りを通り越してがっかりさせられたのは私だけではないでしょう。

そもそもこの『毎月勤労統計調査』、大正12年に始まった『職工賃銀毎月調査・鉱夫賃銀毎月調査』を前身に、国の重要な統計調査である『基幹統計調査』として厚生労働省が実施・公表しているものです。今回の不正は、平成8年から公表していた調査事業所数を1割操作していたほか、平成16年からは本来『統計法』により全数調査しなければいけない従業員500人以上の事業所に対する調査を、賃金が高い傾向にある東京都の事業所について3分の1の『抽出調査』に切り替えていたものでした。このことによって、全国平均賃金は実際よりも低く出ていることとなります。これら一連の不正は何を意味するのでしょうか。

ひとつは、雇用保険や労災保険の給付額が不当に抑えられていたということです。本来給付されるべき保険金が過少に給付されていた事実は非常に重いものです。これに伴って政府が試算した追加給付の総額は、本来必要ではない再調査経費などの事務費195億円を含め、現時点で800億円に上る見込みです。そしてこれらの費用には、事業者や労働者が支払っている保険料を原資とする『雇用・労災保険の特別会計』が充てられようとしているのです。

ふたつ目は経済成長率・賃上げ率が上昇したように見せかけ、『アベノミクスの成功』を国民にアピールしたということです。政府は前に述べた『調査対象の3分の1を抽出していた東京都の調査結果』を平成30年1月から一転、3倍に補正し始めました。このことにより、当然平均賃金は上昇し経済成長が加速されたように見えるわけです。昨秋の総裁選の際に安倍首相は『過去最高の賃上げ率』を声高に主張していましたが、時の政権の都合で統計を意図的に操作するなど、言語道断の愚行と言わざるを得ません。

もうひとつ。以前このコラムにも書きましたが、昨年は5年ごとに策定する『中期防衛力整備計画』の策定年にあたっており、12月には新たな『防衛計画大綱』と『中期防衛力整備計画』が閣議決定されました。それによると2019年度から5年間の防衛費は27兆4,900億円と過去最高を更新することが明らかになっています。これは前5か年の整備計画と比較しても2兆8,000億円も上回る額なのです。内訳には、アメリカとの同盟関係を維持するための新たな戦闘機や話題のイーゾアシアの購入費用や、護衛艦を戦闘機の発着艦ができる『空母』に改修する費用などが含まれています。どうやら明らかに我が国は、軍国化に向かって進んでいるようです。唯一の被爆国であり、戦後の統治時代と同じような状況が現在も続いている『沖縄』を抱える国家の進む姿とは到底思えません。

もうひとつだけ。沖縄普天間基地の辺野古移設の賛否を問う県民投票の日が近づいています。現時点で、宜野湾・沖縄・宮古島・石垣・うるまの5市がこの県民投票に参加しない意向を示しています。この5市の有権者は36万人で県全体の有権者の32%を占めるということです。ここにも政府の何らかの力が働いているように感じられて仕方ありません。5市の市長はじめ市議会には、県民一人ひとりの『声を上げる権利』をきちんと保障してほしいと思います。

巷では『平成最後の…』という決まり文句が流行っていますが、平成が終わって新しい時代に入ったからといって、何もかもガリセットされるわけではありません。この社会全体を取り巻く不穏な状況は5月1日以降も続いていくわけです。将来に禍根を残すことなく次代を担う子供たちにこの国をバトンタッチしていくためにも、今年は国民一人ひとりが政治にきちんと口出しし正していく1年にしていきたいものです。
(管理者 山口 収)

* 沖縄県民投票については、全県実施を求める『全国一斉ファックスアクション』が動き始めています。全国からも沖縄の民主主義を取り戻す動きは応援できますよ！

祝！！新成人を祝う会



平成31年1月18日（金）、仙台つどいの家で「新成人を祝う会」を開催しました。今年度成人を迎えたのは、さんしょグループの長岡美空さん。当日は風が強かったものの、天候に恵まれました。式には、つどいの家の仲間達、保護者や来賓の方々含め、合計で100名程が集まり、盛大にお祝いしました。美空さんは学生時代の恩師達に声を掛けられ、少し緊張していましたが、嬉しそうでした。この日の為に体調管理には十分気を付けていました。なぜなら、美空さんはこの日をずっと楽しみにしていたからです。つどいの仲間に着物を借り、その衣装に合わせるため、髪を切らずに伸ばしていました。



式が始まる1時間半前から準備開始。母と職員3名体制で、着付け、化粧、髪をセットしました。たくさんの人に「キレイ、かわいい！」と声を掛けられ、照れながらも喜んでいました。



20年の歩みを振り返るスライドショーでは、生まれてすぐに障がいがあると分かった時、おじいさんが「長岡家には今までたくさん子供が生まれたけど、そういう子は初めてだ。今度はうちがそういう子をお預かりする番なんだ。大事に育てよう！」と言ってくれたというお話にとっても感動しました。

ミニコンサートでは、ピアニストの稲垣達也さんをお招きしました。最初にジブリの「君をのせて」が流れると、会場内がとても素晴らしい雰囲気になりました。ディズニーの「A Whole New World」は美空さんが大好きな曲で、稲垣さんをお願いして演奏してもらいました。ピアノの演奏に合わせ全員で大合唱。実は、サプライズで1ヶ月程



前からこの日のために、職員の打ち合わせの時間やグループ活動の時間を使い、こっそり練習していました。とても難しい曲でしたが、美空さんが喜んでくれるならと、みんなで頑張りました。みんなの思いは届いたかな？

美空さん、本当に成人おめでとうございます。これからもつどいの家の仲間達と一緒に素敵な体験をたくさんしましょう♪

(記：櫻井)



もりのみやこふれあいコンサート

12/4 にイズミティで開催された「もりのみやこふれあいコンサート」に行ってきました。仙台フィルハーモニー管弦楽団による演奏で、会場は満員。仙台つどいの家からは 10 名の利用者さんが参加しました。

モーツァルトやビゼーの「カルメン」、日本民謡をアレンジした演奏、クリスマスソングなど盛り沢山でゆったり堪能できました。

前列は車いす席で、車いすの利用者さんもスケールの大きな演奏に全身で感動を表現していました。さんしょの加藤剛さんは、一番前の真ん中で車いすに凛とした姿勢で座り、顎の下に両手を置いて静かに聞き入っていました。演奏曲が盛り上がると両手を前に出し、まるで指揮をしているかのようでした。けやきの若松智香さんは、車いすに乗り、全身でリズムをとり、車いすの側面を手でポンポン叩いてノリノリです。もみじの櫻井賢治さんは、静かに目を閉じて聴いており、日本の民謡をアレンジした曲やクリスマスソングの時は、しっかり顔を挙げて聴き入っていました。同じグループの山中双美子さんは、頭を揺らしたり手を回したり振ったりリズムをとり聞いています。

さんしょの後藤彩也佳さんは、ずっと目を閉じて静かに聴き入っています。手・足を動かすことが困難な方でリズムをとるのも難しいのですが…「カルメン」の演奏時に何と自分で両手を上方に伸ばし、手に触れると、指先でリズムをとっていました。お腹に響くような音・美しい旋律・独特のリズムに、全身で体感できたようです。座席の利用者さんも、静かに聴き入っている方、体全体で感じ取っている方、一人一人、思いを体で表現していたようでした。演奏が終わり、帰る時に管弦楽団の方々がお見送りをしてくれ、利用者さんの様子を伝えると「それは良かったです。また、来て下さいネ」と利用者さんに声をかけて頂きました。本当に素晴らしい演奏・感動をありがとうございました。(記：角田)



「Close-up!

さんしょグループ 早川 奈津子さん

今回の Close up! は、さんしょグループの早川奈津子さんです。奈津子さんは食べることが大好きで、美味しい物を食べると左手を挙げ「美味しいサイン」を出して教えてくれます。調理活動の時は、奈津子さんに味見をしてもらい、「美味しいサイン」が出たら味付けは OK! 奈津子さんのお母さんに聞くと、お家でも味見担当は奈津子さんがやっているそうです。

奈津子さんの今年度の目標は、「おいしいお店を見つける」です。色々な所へ外食に行き、美味しかったもの、気に入ったお店のおいしい度やバリアフリー度、横になって休む場所があるか等を☆で評価し、外食レポートを作成しています。また、とんがらし通信やつどいの家のホームページにもお店の情報を載せ、周囲の方々へグルメ情報を発信している所です。

今年度も沢山外食に行きましたが、中でも☆5 つだったのは、ホテルモントレ仙台のフランス料理「エスカーレ」のクリスマスランチでした。落ち着いたお店の雰囲気

気も良かったようで、席についた途端に手を挙げる奈津子さん。前菜の生ハムや、オードブルの白身魚のマリネ、お魚料理の帆立のグリルが特に美味しかったようで、手を上げて美味しそうに食べていました。ホテルのパンも気に入ったようで、美味しい! とパクパクと食べていました。お肉料理の仔牛フィレ肉のローストは、レアに近かったので、なかなか噛みちぎるのが難しそうでしたが、お料理の量も食べ応えがあり 3,420 円というお値段で、奈津子さん大満足なクリスマスランチでした。

みなさんもおススメのお店がありましたら、奈津子さんにぜひ教えてください!! 奈津子さんと一緒にランチしに行きましょう~☆(記：佐藤唯)



アジアとヨーロッパの間 ～トルコ旅行記～

メルハバ！12月中旬、トルコへ一週間ほど一人旅に行ってきました。東京から飛行機で15時間、世界遺産カッパドキアに行きました。カッパドキアは何千年も前から火山灰で出来た山に穴を開けて人々が生活していて、まるで別世界に迷い込んだかのような光景が広がっていました。乗りたかった気球は雪と風が強く飛びませんでした。100M近い深さの地下帝国に行ったり、ご当地グルメ「つぼ焼きケバブ」を食べました。つぼ焼きケバブは、壺の中に牛肉と沢山の野菜を入れて3時間じっくり焼くそうです。肉が柔らかくて、ビールに合う味でした。二日間カッパドキアに滞在した後、トルコー大きな街イスタンブールに行きました。イスタンブールは、色んな宗教の方が暮らしている町で、街の至る所にイスラム教のお祈りする場所「モスク」が点在していて美しい街並みが広がっています。最初に、イスラム教の方が身を清めるサウナ「ハمام」に入ってきました。サウナで汗を流した後大理石の台に横になり、丸太位の腕の太さの大男に全身泡をだらけにされて体をタオルで力強くこすってもらいました。最初は皮膚がひりひりする程痛かったですが、だんだん慣れてきてトルコのサッカー事情について話をしながらリラックスしてきました。夜はアジアとヨーロッパの中間、ボスポラス海峡のナイトクルーズに行きました。世界各国の人が集まっていて、イスタンブールの夜景と美味しいお酒を飲みながらベリーダンスを見ました。途中、近くに座っていたパキスタン人の方と仲良くなり、ステージと一緒に立って世界各国の曲に合わせて踊り、どんちゃん騒ぎして楽しいひと時を過ごしました。

トルコは親日国として知られていて、日本人と知ると良くしてくれます、皆さんも歴史ある食べ物と美味しいケバブを食べにトルコに行ってみてください。私は2019年は砂漠がある国に行きたいです。

※海外旅行は、旅行会社に飛行機や宿を取ってもらえば安く簡単にいくことができます。英語が喋れなくても案外なんと現地の人との会話が成立します(笑)勇気を持ってみんな海外へ行こう！きっと素敵な景色が待っています！(記：松原)



SMG コンサート

クリスマスまで1か月を切った11月末、SMGコンサートが開かれました。SMGとは『S(仙台)M(ママ)G(ゴスペル)』と『S(仙台)のM(ママ)G(頑張る)』の2つの意味が込められています。生のゴスペルを聴いたのはほぼ初めての利用者さんが多い中、

「Oh Happy Day」や「Joyful Joyful」等、ゴスペルの名曲の数々で会場の雰囲気は最高潮に！笑顔でSMGさんに駆け寄り、体全体で楽しんでいました。賛美歌も歌ってくださり、一足早いクリスマスを感じる事ができました。最後には出演者の方々も「楽しかった！」と仰って下さり、皆が笑顔でコンサートを終えました。ゴスペルから元気をもらった1日となりました♪(高橋杏)





仙台つどいの家 実践発表会「すてーじ」

去る12月7日(金)、仙台メディアテークスタジオシアターにて、仙台つどいの家「すてーじ」を開催しました。

私たちつどいの家は、どんなに重いしょうがいのある人も、地域で差別されることなく、いきいきと自立した生活ができるよう、自己実現の場を保障し支援することを、基本理念に日々の活動をしています。そんな日常の利用者さんとの関わりの中にはたくさんの方の発見や気づき、喜びや感動があります。それら一つひとつの実践を短い映像に思いを込めて作り上げたものが「すてーじ」です。福祉に携わる方もそうでない方も、しょうがいのあるなしに関わらず色々な方に見て、知って、興味を持って頂ければ幸いです。



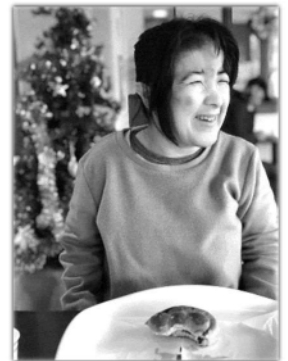
今回、第1部では社会福祉法人武蔵野「デイセンターふれあい」の支援員の柳亮一郎さんにお越し頂き、



「DCF＝重度障害のある方が自分の力を発揮できる場所を目指して」というテーマで、ご講演を頂きました。利用者の方のほとんどが身体障害と知的障害を併せ持つ大変障害の重い方々で、どのようにしたらそれぞれの方が持っている力や機能を活かせるのか、創作活動を通して取り組んでいることを発表して頂きました。「これしか動かせない」ではなく、「これだけ動かせるとのだから、どんな準備や工夫があればいいのか」といったように、環境面やこちらの捉え方次第で、その方の可能性は広がっていきます。商品を色々な方に触れて感じてもらうことで、社会とのつながりの第一歩になります。ふれあいではDCFというブランドを立ち上げ、利用者さんの

作品を地域のお店に交渉して置かせていただいたり、法人が駅前まで運営している店舗で販売したりしています。店頭に並ぶとすぐに売れてしまう人気商品もあります。

第1部の後半は仙台つどいの3名の利用者さんの「すてーじ」を上映しました。1人目の庄司篤史さんは、つどいの家に通所するようになり色々な体験をしていく中で、今まで苦手だったことでも出来るようになってきたことを「チャレンジ」をテーマに映像にまとめました。2人目の大山ゆかりさんは、パン工房でいろいろな仕事を頑張っている中で、「自分の仕事」としてジャム作りを確立しました。過去から現在への変化や、ステップアップの道のりを映像で追いました。3人目の高橋智子さんは、父が単身赴任、兄弟は県外で生活という状況で、長年母と二人暮らしを送ってきた中で母の突然の死。今までの生活とは一変し、色々な人の思いが一つになり少しずつ生活の基盤を立て直していく過程を通して、家族の状況は変わっても智子さんを中心に前に進もうとしている家族のカタチを映像に注ぎ込みました。



第2部では、日頃現場で支援に携わっている第1部の作成者に加え、デイセンターふれあい管理者の本庄一聖さんにも登壇していただき、「思いを大切にしたい支援」について、ディスカッションを行いました。私たち支援者と同じく利用者さんも多くの人との出会いの中で、人との接し方や考え方を学んでいます。本人の思いは今どこにあるのか。決めつけることなく、多様な価値観を持ちながら支援に携わるのが大切ということを感じました。

映像制作では三者三様。作り手が変われば構想も変わり、写し出されるものも変わります。改めてじっくりと接することで、新たに生まれる思いや発見に戸惑い、手探りで作成をしてきました。見る人によって捉え方は様々あるかと思いますが、この実践発表「すてーじ」が1人でも多くの方の目や耳に触れ、心の片隅にでも置いてもらえるものになれば、私たちの役割を一つ果たせたのかなと思います。今後とも「すてーじ」、そして仙台つどいの家をよろしく願いいたします。(記：鈴木)



日中活動支援部会全国大会 in 横浜

11月29・30日の2日間、横浜プリンスホテルで行われた『日中活動支援部会全国大会』に参加してきました。

今回の研修では、昨年4月の介護保険法改正で新たに取り入れられ、申請をした事業所であれば同じ施設で介護保険サービスと障害福祉サービスの両方を提供できる『共生型サービス』の仕組みについて、興味深く聞きました。このサービスを導入することで地域の高齢者が同一事業所内で過ごすことができ、地域の理解や利用者への刺激にもなるとのことでした。また、65歳を超えた利用者さんが、介護保険を利用しながら以前と変わらず通所することが出来ることは安心して生活することができ、ストレス軽減にもつながるのではないかと思います。

二日目の分科会でも『高齢化支援』について3事業所から実践報告が行われました。共通して行なっていること・必要であることとして挙げていたことは『個別の支援』『日々の体調の変化を記録する』ことでした。どの事業所も年齢や障がい特性でグループ分けをしており、体調や健康面へのアプローチを他職種と連携し合いながら取り組んでいるとのことでした。「高齢化なんてまだ先」などと考えず、将来を考え今から行えることを話し合い取り組んでいく必要があるのだと感じました。

今回初めての参加でしたが、多方面から障がい福祉の現状や実際施設で行なっている取り組みについて話を聞くことができたのはこれからの自分の支援の幅を広げる大変貴重な機会だったと思います。

(記：今川)



『内部研修』について

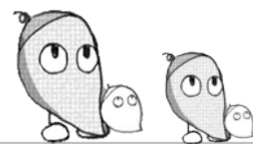


11月の中旬、宮城教育大学の菅井裕行氏を講師にお招きし、けやきグループの高橋智子さんについて理解を深めようというテーマで、内部研修が開催されました。高橋智子さんは、自身の想いを表現する方法として、自傷行為（壁に額を打ち付ける行為）があります。その対応については、それぞれの職員が色々な考えを持ち、どのように接したらいいのか・・・悩んでいました。当日は、3つのグループに分かれ、「智子さんとの関わりについて」「なぜ自傷行為をするのか」等の内容でグループワークが行われました。

智子さんが求める言葉や、やり取りは職員によって様々です。グループワークで話し合うことによって、自分の知らない智子さんの一面を知ることができました。「分かりづらさ」から不安や緊張を招くこと。温かく見てくれる「空気＝雰囲気」の中で、智子さんが安心して落ち着ける人との関係や活動、場所が提供され、人の言いなりになるのではなく、自分でコントロールできる力を身につけていけるように支援してもらおうこと。この2点が菅井先生のお話で印象に残り、他の利用者さんにも共通することだと思いました。智子さんのことをもっと知りたい、智子さんにとって安心して落ち着ける人になりたいと強く感じた研修でした。(記：遠藤)

普段パン工房での活動がメインの私としては、なかなか他のグループの利用者の方と関わる機会が少なく、帰りがけに見かけて声を掛けるのが関の山。もちろん智子さんもその中のお一人でした。しかし、彼女の行動にはインパクトがあり、気にかかる方でもありました。なぜなら、我が家にも、常におでこの皮が擦りむけて、両頬の脇に赤黒い黥章が付いているちびっ子ギャングがいるからです。他人事とは、思えず、その行動の理由や意味を少しでも知る事が出来ればと思い、参加させていただきました。

最初見た時は、やはり痛々しく思い、どうにかその行為をやめさせることは出来ないものだろうかと思っていたのですが、皆さんのお話を伺い、それが智子さんなりの表現方法の1つである事、決してマイナスイメージだけではないという事。すごく勉強になりました。これからも、もっともっと利用者の方々と関わって、「知りたい!」と思った研修となりました。(記：木村栄)



スケジュール schedule

- 2月**
- 2日(土) 休日開館日⑥
(めいふる：小学生クッキング)
 - 11日(月) 建国記念日
 - 13日(水) チーフ会議 ゆるっと
 - 14日(木) 音楽療法① 給食会議③
 - 18日(月) 給食お休み
 - 20日(水) 職員会議 施設懇談会
 - 21日(木) 音楽療法②
 - 27日(水) アロマゆるっと
 - 28日(木) ケース会議 13:30 降所



- 3月**
- 5日(火) ケース会議 13:30 降所
 - 7日(木) 音楽療法①
 - 12日(火) チーフ会議
 - 14日(木) 音楽療法②
 - 19日(火) 職員会議
 - 20日(水) 施設懇談会
 - 21日(木) 春分の日
 - 29日(金) ケース会議 13:30 降所



缶回収

12月の納品額

合計 3,182 円でした。

ご協力有難うございました。



編集後記

最近、休日にマッサージ屋さんに行く事にはまっています。先日、台湾式マッサージに行ってきました。初めての体験でしたが、寝落ちしちゃう程気持ちがよく、心身共に癒されました。今年は、癒しを求めて、色んな場所に出かけたいな~と思っています。おすすめのスポットがあれば教えてください◎
今年も、とんがらし通信を宜しくお願い致します。(記：庄子)

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(11月14日~1月15日まで)

シルビアさん、近江さん、吉田さん、京子さん、工藤さん、阿部さん、鳥山さん、菅澤さん、加藤さん、他

見学・来訪者など

生け花(濱谷さん)、音楽療法(向井田さん・菊池さん)、アロマゆるっと、長岡屋+、狩野さん(ボランティア希望)、すいせん保育所(理事長、所長)、後援会会長(針持氏)、鶴ヶ谷特別支援学校(中山先生)、バイタルネット、AIG(針金さん)、日本環境衛生研究所、風の郷工房、佐々木装具店、共栄防災、千葉装具店、日産サテオ宮城、日本テクノ(安田さん)、ダスキン、ホシザキ東北、今庄青果、マルキ水産、マルイ、ジェーシーアイ(瀬戸さん)、フジマック、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、仙台大気堂(田村さん、小野さん)、ヤクルト、マルゼン、大塚商会(今岡氏)

法人職員：加藤、半澤、福地、高杉、佐吉、飯田、岡崎、児玉、佐藤(亮)、山口、他

(以上、ご芳名順不同)

書き損じはがき、未使用切手、 使用済切手などありませんか？



年賀状やお礼状作成の折に書き損じたはがき、料金改定前の額面の切手など、ご自宅に眠っていませんか？仙台つどいの家にぜひご提供ください！ご協力いただいたはがきや切手は、とんがらし通信の発送など『しょうがいのある方の理解促進のための啓発』に使用させていただきます。

また、『使用済み切手』もあわせて募集しています。こちらは日立親切会さんを通じて、視覚しょうがい大学生の奨学資金や海外への医師派遣に役立てられます。

ご協力の際は、直接ご持参・郵送くださるか、仙台つどいの家までご連絡ください。よろしく願いいたします。

【仙台つどいの家】

仙台市宮城野区幸町3丁目12-16

☎022-293-3751